

PHANTOM 4 PRO⁺ V2.0

クイックスタートガイド

v1.2



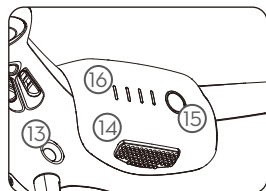
Phantom 4 Pro+ V2.0

DJI Phantom™ 4 Pro+ V2.0 は、4K/60 fpsの動画 (最大100 Mbps) および20MPの静止画を撮影できるプロシューマー向けスマート・フライングカメラです。4方向の障害物回避機能により、障害物を自動で回避しながら飛行できます。また、DJI GO™ 4アプリで TapFly™ と ActiveTrack™ を使用すると、タップするだけで飛ばしたい方向に飛行させたり、動く被写体をマークするだけでスムーズに追尾させたりすることが可能です。カメラには1インチCMOSセンサーを採用。今まで以上に鮮明で低ノイズ、高品質の写真や動画を撮影できます。

上記の機能に加え、推進システムの効率が向上し、機体のノイズが Phantom 4 Pro+ V2.0 より4dB (60%) 低減されています。



- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. ジンバルとカメラ | 9. モーター |
| 2. 下方ビジョンシステム* | 10. プロペラ |
| 3. Micro USB ポート | 11. 機体ステータスインジケータ |
| 4. カメラ/リンクステータスインジケータおよびリンクボタン | 12. アンテナ |
| 5. カメラの Micro SD カードスロット | 13. 後方ビジョンシステム |
| 6. 前方ビジョンシステム | 14. インテリジェント・フライト・バッテリー |
| 7. 赤外線検知システム* | 15. 電源ボタン |
| 8. フロント LED | 16. バッテリーレベルインジケータ |

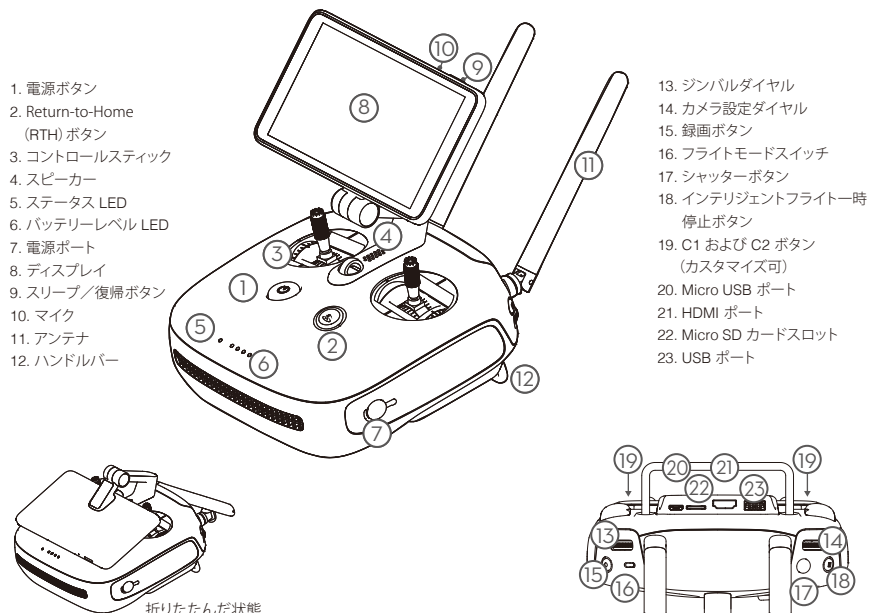


* ビジョンシステムおよび赤外線検知システムは、周囲の環境から影響を受けます。詳細については、免責事項および安全に関するガイドラインをお読みになり、DJI GO 4 アプリまたは DJI 公式ウェブサイトのチュートリアルをご覧ください。

送信機

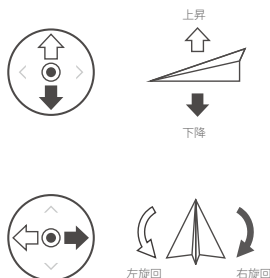
Phantom 4 Pro+ V2.0の送信機の最大伝送距離は8 km*です。また、この送信機には物理ボタンとダイヤルが備わっており、露出/カメラのチルト/静止画撮影/動画撮影の操作が可能です。

送信機にDJIの最先端の長距離伝送テクノロジーOcuSync™を搭載しているので、カメラが捉えた映像をHD画質でリアルタイムにディスプレイに表示できます。デュアル周波数に対応しているので、HD映像の安定したダウンリンクを実現。(日本国内は2.4GHzのみ利用可能)

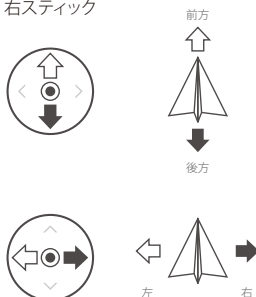


デフォルトのフライトコントロールはモード2です。左スティックで機体の高度と進行方向、右スティックで前進、後退、右回転、左回転をコントロールします。ジンバルダイヤルでカメラのチルト操作をコントロールします。

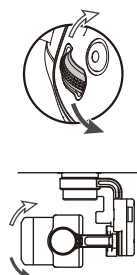
左スティック



右スティック



ジンバルダイヤル



* 送信機の最大伝送距離 (FCC) は、電磁干渉のない開けた場所で高度120mであれば、最大8 kmです。ただし、日本仕様の最大伝送距離は5 kmです。

Phantom 4 Pro+ V2.0 の使用方法

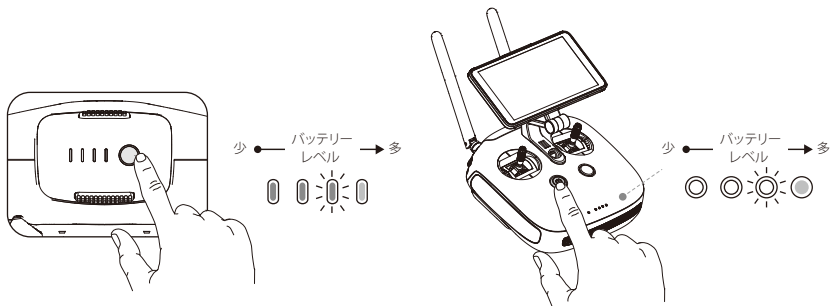
1. チュートリアルビデオの視聴

www.dji.com または DJI GO 4 アプリでチュートリアルビデオをご覧ください。



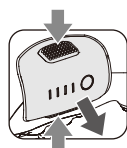
チュートリアルビデオ

2. バッテリーレベルのチェック

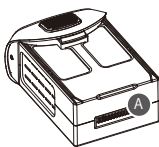


ボタンを1回押すと、バッテリーレベルを確認できます。ボタンを1回押し、次に長押しすると、電源がオンまたはオフになります。

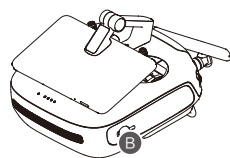
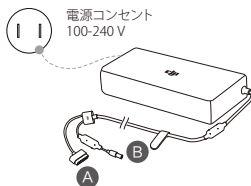
3. バッテリーの充電



バッテリーを
取り外します。



充電時間：
最大 1 時間 20 分

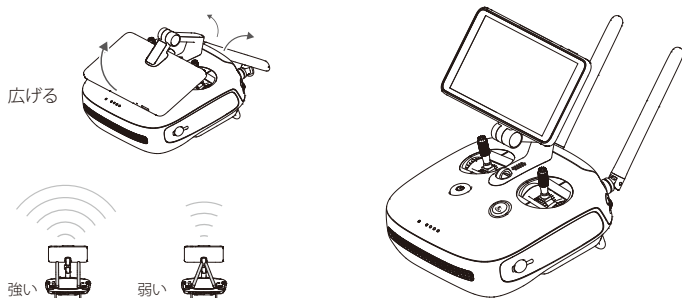


充電時間：
最大 2 時間 50 分

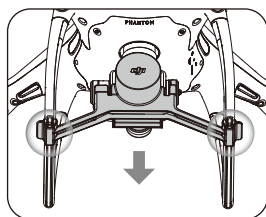


• 充電が完了すると、バッテリーレベルインジケーターが自動的に消灯します。

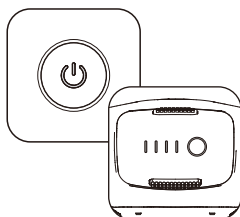
4. 送信機の準備



5. 離陸の準備



カメラからジンバルクランプを取り外します。



送信機と機体の電源を入れます。

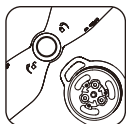


DJI GO 4で初回の設定を完了し、GO FLYボタンをタップしてください。

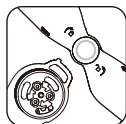


インターネット

初回起動時に、ユーザーの DJI アカウントとインターネットに接続できる環境が必要です。



黒のプロペラリングは黒いドットのあるモーターに取り付けます。



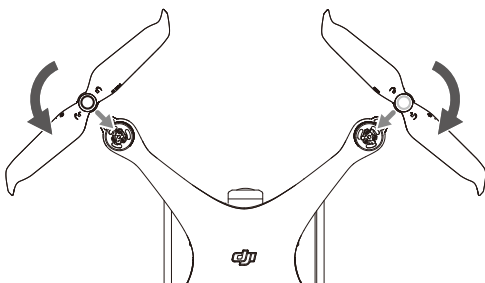
銀のプロペラリングは黒いドットのないモーターに取り付けます。



プロペラはプレートに押し付けて、固定されるまでロック方向(🔒)に回転してください。



• フライト前に、プロペラがしっかりと取り付けられていることを必ず確認してください。



6. 飛行

Ready to Go (GPS)

屋内を飛行させる場合、離陸前に、DJI GO 4 アプリの機体ステータスバーに「Ready to Go (GPS)」または「Ready to Go (Vision)」と表示されていることを確認してください。

DJI GO 4 アプリ:



自動離陸

機体が離陸し、高度 1.2m でホバリングします。



自動着陸

機体が垂直に着陸し、モーターが停止します。



Return-to-Home (RTH)

機体をホームポイントに戻します。もう一度タップすると中止します。



通常

GPS と Return-to-Home 機能を使用して機体进行操作します。



TapFly

画面上でタップした方向に機体を飛ばすことができます。飛行中に障害物があると、自動で回避します。



ActiveTrack

画面上で動く対象物をマークすると、自動で追尾させることができます。

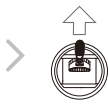


- 詳細については、DJI GO 4 アプリまたは DJI 公式ウェブサイトでご覧ください。
- 離陸前に、必ず適切な RTH 高度を設定してください。機体をホームポイントに戻す際は、コントロールスティックで誘導してください。詳細については、免責事項および安全に関するガイドラインを参照してください。

手動での離陸



モーター始動／停止のコンビ
ネーションスティックコマンド



左スティックをゆっ
くり上げて離陸

手動での着陸



地面に着くまで左スティ
ックをゆっくりと下げる

数秒間そのまま保持してか
ら、モーターを停止します。



- 回転中のプロペラに触れると危険です。付近に人がいる場合には、モーターを始動しないでください。
- モーターが回転しているときは、送信機から決して手を離さないでください。
- 飛行中のモーター停止: 左スティックを下の内角側に引きながら同時に RTH ボタンを押します。飛行中のモーター停止は、人体・物体への損傷・負傷のリスクを低減させる目的で緊急時のみ行ってください。詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。



飛行中のモーター停止

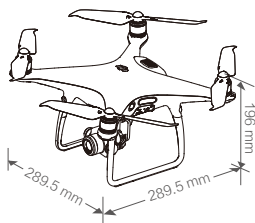


ご自身の安全と周りの人々の安全のため、基本的なフライトガイドラインを理解することが重要です。免責事項および安全に関するガイドラインを必ずお読みください。

仕様

● 機体

重量 (バッテリーとプロペラを含む)	1375 g
最大上昇速度	S モード: 6 メートル/秒, P モード: 5 メートル/秒
最大下降速度	S モード: 4 メートル/秒, P モード: 3 メートル/秒
最大速度	72km/時 (Sモード), 58km/時 (Aモード), 50km/時 (Pモード)
運用限界高度 (海抜)	6000m
最大フライト時間	約 30 分
動作環境温度	0~40°C
GNSS	GPS+GLONASS
動作周波数	2.400~2.483 GHz
送信出力 (EIRP)	≤26 dBm (FCC); ≤20 dBm (CE); ≤20 dBm (SRRC); ≤20 dBm (MIC: 日本)
ホバリング精度の範囲	垂直: ±0.1 m (ビジョンポジショニング), ±0.5 m (GPS ポジショニング) 水平: ±0.3 m (ビジョンポジショニング), ±1.5 m (GPS ポジショニング)



● ジンバル

制御可能範囲	ピッチ: -90°~+30°
--------	----------------

● ビジョンシステム

対応速度	地上2mで50km/時
対応高度	0~10m
動作範囲	0~10m
障害物検知範囲	0.7~30m
動作環境	地表の模様は明瞭で、適切な明るさのある状態 (15 ルクス以上)

● 赤外線検知システム

障害物検知範囲	0.2~7m
動作環境	拡散反射する物体、反射率 8% 以上 (壁、樹木、人間など)

● カメラ

センサー	1" CMOS、有効ピクセル数: 2000万画素
レンズ	視野外角 84°, 8.8 mm (35 mm 判換算相当: 24 mm), f/2.8~f/11, オートフォーカス 1 m~∞
ISOレンジ	動画: 100~3200 (オート), 100~6400 (マニュアル), 静止画: 100~3200 (オート), 100~12800 (マニュアル)
メカニカルシャッター	8~1/2000 秒
電子シャッター	8~1/8000 秒
最大静止画サイズ	アスペクト比 3:2 : 5472×3648, アスペクト比 4:3 : 4864×3648, アスペクト比 16:9 : 5472×3078
静止画モード	シングルショット

連続撮影: 3/5/7/10/14 枚	
オート露出ブラケット (AEB): 3/5枚 (0.7EV ステップ)	
インターバル撮影: 2/3/5/7/10/15/30/60 秒	

動画モード	H.265	H.264
●C4K:	4096×2160 24/25/30p	●C4K: 4096×2160 24/25/30/48/50/60p
●4K:	3840×2160 24/25/30p	●4K: 3840×2160 24/25/30/48/50/60p
●2.7K:	2720×1530 24/25/30/48/50/60p	●2.7K: 2720×1530 24/25/30/48/50/60p
●FHD:	1920×1080 24/25/30/48/50/60/120p	●FHD: 1920×1080 24/25/30/48/50/60/120p
●HD:	1280×720 24/25/30/48/50/60/120p	●HD: 1280×720 24/25/30/48/50/60/120p

最大ビデオビットレート	100 Mbps
対応ファイル形式	FAT32 (32 GB 以下)、exFAT (32 GB 超)
静止画	JPEG, RAW (DNG), JPEG + RAW
動画	MP4 / MOV (AVC / H.264, HEVC / H.265)
対応SDカードタイプ	Micro SD、最大容量: 128 GB、クラス 10 または UHS-1 規格が必要
動作環境温度	0~40°C

● 送信機

動作周波数	2.400~2.483 GHz
最大伝送距離	8 km (FCC); 5 km (CE); 5 km (SRRC); 5 km (MIC: 日本)
(障害物や干渉がない場合)	
動作環境温度	32°~104° F (0°~40° C)
バッテリー	6000 mAh LiPo 2S
送信出力 (EIRP)	≤26 dBm (FCC); ≤20 dBm (CE); ≤20 dBm (SRRC); ≤20 dBm (MIC: 日本)
動作電圧	1.2 A @ 7.4 V
対応モバイルデバイス	5.5 インチ画面、1920×1080、1000 cd/m² Android システム、4G RAM+16G ROM

● 充電器

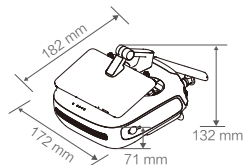
電圧	17.4 V
定格出力	100 W
● インテリジェント・フライト・バッテリー (PH4-5870mAh-15.2V)	
容量	5870 mAh
電圧	15.2 V
バッテリータイプ	LiPo 4S
電力量	89.2 Wh
正味重量	468 g
充電温度範囲	5~40°C
最大充電電力	100 W

詳細については、ユーザーマニュアルをダウンロードしてください。
<http://www.dji.com/phantom-4-pro-v2>

※ このクイックスタートガイドは予告なく変更される場合があります。



For online support, please scan this code with Facebook Messenger



HDMI™

DJI incorporates HDMI™ technology. The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

PHANTOM は DJI の商標です。
 Copyright © 2019 DJI All Rights Reserved.
 Printed in China.

PHANTOM 4 PRO⁺ V2.0

www.dji.com



11UDGPRMJP04